

株式会社 三創楽器製作所

8

「チェンバロ」の市場価値向上を図るメンテナンス性に優れた 自社ブランド商品の開発と一貫サービス体制の導入

▶ 承認日/平成25年1月 ▶ 計画期間/平成24年2月~/3年計画

▶ 所在地 〒435-0041 浜松市東区北島町789 ▶ 代表者 富田 勝彦 ▶ 設立 平成20年2月

▶ 資本金 3,000千円 ▶ 従業員数 7人 ▶ 主要製品 チェンバロ、クラヴィコード、スピネット、大正琴、ゆみ琴、ショルダーハーブ

▶ TEL (053) 421-5677 ▶ FAX (053) 421-2616 ▶ ホームページ <http://www.sanso.main.jp/>

製造業

既存の事業内容（計画実施前）

当社は、平成20年にチェンバロ製作会社である(株)三創工芸より事業承継した国内でも数少ない「古典楽器工房」である。当社は、一般的な工業生産システムを用いず、古典楽器を作り続けて30年余の製作者を中心に、材料の選択からその扱い方、設計、加工、完成までを一貫して手掛けている。中でもチェンバロ製作は、国内では数名の個人製作者が一品製作をしているレベルであるが、専用の生産設備・技術者を有しているのは当社のみである。

経営革新計画の概要

これまで、チェンバロの販売は代理店経由で顧客に納品されていたため、アフターメンテナンスへの対応が不十分であった。また、チェンバロのメンテナンスは、基本的に月1回必要なため、普及が進まないという課題がある。

経営革新計画では、光と風通しを調整し、3年間乾燥させた温度変化に強い材料による自社ブランド「チェンバロ」を開発する。また、併せて顧客のチェンバロ設置環境（クーラー設置場所、窓等）を把握した上で、最適な設置場所を提案し、顧客カルテで管理することで、アフターサービスまでを直接カバーする一貫したサービス体制を構築する。顧客に年1回程度のメンテナンス（調律）で音質の維持を可能にすることと、最適なチェンバロの演奏環境の提案により、自社ブランド「チェンバロ」の市場価値の向上を図る。



自社ブランドのチェンバロ「スピネット」

承認後の成果・効果、今後の取組、活用した支援策

商品開発に当たり経営革新補助金を活用した。今後は、経営革新計画の新器種を積極的にアピールして販売促進を図る。業界紙等にも広告を掲載し、パロック音楽ファンに自社ブランド製品のメンテナンスの優位性と、当社のアフターサービスの充実度をアピールして知名度を高めていく。また、コンサート等にも出来る限り展示をはたらきかけ、販売促進につなげていく。



精度を要求される調弦作業の様子

新たに経営革新計画の策定を検討している方へ

目標設定が明確になると、生産工程の推移が常時把握できます。対外的に、会社の知名度と社会的な信用の向上につながり、特に金融機関からの信用度が向上しました。販売促進においても信用度が向上しますので、経営革新計画に取り組むことをお勧めします。



楽器専門店でのチェンバロ展示・試奏会の様子